

SUSPONシンポジウム2017

スポーツを通じた持続可能な 社会づくりへの挑戦

2020年オリンピック・
パラリンピックを越えて

2017年2月16日(木)13:00~16:30
@日比谷図書文化館ホール

主催:

地球・人間環境フォーラム

持続可能なスポーツイベントを実現するNGO/NPOネットワーク

助成:環境再生保全機構地球環境基金(2016年度)



持続可能なスポーツイベントを実現する
NGO/NPOネットワーク
Sustainable Sport
NGO and NPO Network

SUSPON

代表 羽仁 カンタ

オリンピック憲章 (Olympic Charter)

国際オリンピック委員会 (IOC) が定めた
オリンピック開催のための規約やルール。
1925年に制定され、最新版は2011年に改正。

オリンピック開催の目的

- 1) スポーツ
- 2) 文化……文化交流、文化体験
- 3) 環境……持続可能な未来を創る



持続可能なスポーツイベントを実現する
NGO/NPOネットワーク

Sustainable Sport NGO and NPO Network

SUSPON(サスポン)とは

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを持続可能な大会とすることをきっかけに、その後の東京、ひいては日本や世界の持続可能な社会づくりにつなげていくことを目指し、関心を寄せるNGO/NPOがお互いに情報交換をしつつ、自ら当事者として活動し、関係団体に働きかけていくことを会の趣旨とする。

なぜ、NGO/NPOが東京2020大会に関わるのか！

- 市民参加
 - 横のつながりを活かす
 - 対話の場を創って行く
 - 参加型社会の促進
- ➡ **SDGs・パリ協定に応える
「持続可能な社会」こそがレガシー**

参加と協働 ▶ NGO/NPOだけではなく、企業、行政、市民と協働していく

NGO/NPO

教育機関

企業

環境省

個人(専門家)

東京都/組織委員会

★基本ポリシー

- 加盟団体の専門や得意分野を活かし組織委員会などに提言活動
- NGO/NPOだけではなく、専門的な個人、企業の経験、知識を学び合う。
- 議論する場をフラットにする
(一方的な場ではなく、加盟団体、東京都、組織委員会など参加者が対等に議論できる場を形成する)
- 提言活動のみならず、責任を持って実践活動を行う。
- 実際に東京2020大会に対応できる活動を多くのアクターと協働する

SUSPONの代表者及び事務局

- 代表 羽仁カンタ (iPledge)
- 副代表 星野智子
(環境パートナーシップ会議)
- 事務局長 坂本有希
(地球・人間環境フォーラム)

SUSPON(サスポン)事務局
一般財団法人 地球・人間環境フォーラム
<http://suspon.net/>

メンバー団体

➤ 17団体(2017年2月時点)

- iPledge (アイプレッジ)
- A SEED JAPAN
- ecotone
- ezorock
- FoE Japan
- 環境パートナーシップ会議(EPC)
- 環境リレーションズ研究所
- グリーン購入ネットワーク(GPN)
- グリーン連合
- CSOネットワーク
- 持続可能な社会をつくる元気ネット
- 水Do!ネットワーク
- スペースふう
- WWFジャパン
- 地球・人間環境フォーラム
- 日本自然保護協会(NACS-J)
- 日本野鳥の会

部会(2016年度)

ごみゼロ(廃棄物)

責任ある調達

生物多様性

エネルギー

➤ 状況に応じ増やしていく

活動内容(2016年度)

●全体会：月に1回【参加団体全て】2016.5.18より

●ステークホルダー会議：

2016.6.22 第1回

2016.8.30 第2回(テーマ:ごみゼロ)

2016.10.19 第3回(テーマ:責任ある調達)

2016.12.7 第4回(テーマ:生物多様性)

2017.1.20 第5回(テーマ:ごみゼロ/エネルギー)

●シンポジウム：

2017.2.16【一般・メディア公開】